

妊婦さんと赤ちゃんを守るために

風しんの予防接種を受けましょう

風しんは子どもの病気と思われがちですが、近年では、子どもよりも大人の間で感染が広がっています。

◎ 風しんは**感染力が強く**、最も怖いのは**妊婦さんが感染すると、生まれてくる赤ちゃんに「先天性風しん症候群」という障害**（くわしくは裏面へ）が生じるおそれがあることです。

◎ 平成 24 年から 25 年には、働く世代の男性を中心に大きく流行しました。

風しんの報告の **7 割以上が男性**、そのうち **8 割以上が 20～40 代**。



※ 平成 26 年度の国の調査では、20～40 代の成人男性の 13.7%に風しんの免疫がないことが分かっています。

20～40 代の成人男性は、家族や職場、友人など、身近なところで妊婦さんに接する機会が多いため、この年代の風しんに免疫のない成人男性一人一人が風しん対策をすることで、妊婦さんが風しんに感染するリスクを減らすことになり、社会全体の風しん感染拡大防止にもつながります。

ご自身だけでなく、妊婦さんと赤ちゃん、家族や一緒に働く方々を風しんから守るために、予防接種を受けましょう。

- 風しんにかかったことが**確実でない方**
- 風しん**ワクチン**を受けていない方
- どちらも不明な方**



該当する項目がある方は、風しんの予防接種をご検討ください。

※2回接種しても問題ありません。



風しんとは

・・・大人がかかると重症化しやすい病気です

風しんウイルスによっておこる感染症で、患者の咳やくしゃみのしぶき等からうつります。 **感染力が強く、一人の患者から免疫がない5～7人に感染させる可能性があります**(インフルエンザでは1～2人)。主な症状は、発熱、発しん、リンパ節の腫れなどで、**大人が発症すると子どもより重症化することがあります**。また、脳炎などを合併して入院が必要になる場合もあり、決して軽く見てはいけない病気です。

先天性風しん症候群とは

・・・おなかの赤ちゃんにおこる障害です

風しんに免疫のない**妊娠中の女性**(特に妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れ等の**障害をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります**。これらの障害を「先天性風しん症候群」といいます。

風しんを予防するには

・・・予防接種が極めて有効です

予防接種を受けることが最も重要な予防方法です。先天性風しん症候群の発生を防ぐためにも、妊娠を希望する女性だけでなく、妊娠中の女性の周囲にいる方が予防接種で風しんを予防することが大事です。(※**妊娠中の女性は風しんの予防接種を受けられません**。)予防接種や免疫の有無を調べる抗体検査は、内科や小児科などの医療機関で行っていますので、かかりつけの医療機関にご相談ください。

抗体(免疫)の保有状況

・・・風しんにかかりやすい年代の方は特に注意しましょう

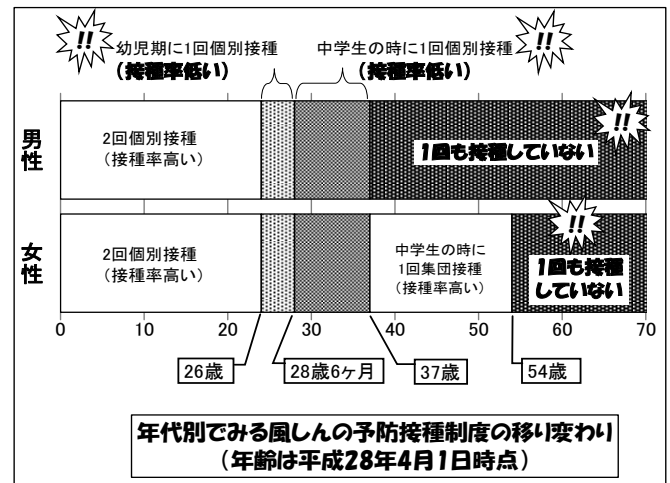
予防接種制度の移り変わりの影響により、**風しんの免疫がない(抗体価が低い)年代や性別があります**。

平成28年4月1日時点で

- **37歳以上の男性、54歳以上の女性**(一度も定期接種の機会なし)
- **26歳～36歳の男女**(接種率の低い年代)

は、**免疫のない方が多いので特にご注意ください**。

風しんにかかったことが血液検査などで確認されていない方(症状だけをみて診断された方は確実ではありません。)、風しんの予防接種を受けたことが記録で確認できない方は、予防接種を受けることをお勧めします。



もっと詳しく知りたい方は・・・

■厚生労働省

風しんの感染予防の普及・啓発事業
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/vaccination/



■国立感染症研究所

風しん Q&A
<http://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>



■茨城県感染症情報センター

麻しん(はしか)・風しん
<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/rubella.html>



☆ このリーフレットに関するお問い合わせ先 ☆
茨城県保健福祉部保健予防課 健康危機管理対策室
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978 番 6
電話：029-301-3233